吉身学区の課題・活性化の方向性

住宅開発による自然や広場などの減少

- 無秩序な宅地開発
- 竹藪の減少
- 三上山がみえなくなってきた
- 緑地の減少
- のどかな風景がなくなる
- 商店街がなくなる
- ホタルを増やすための河川の維持管理方法
- 子供の遊び場がない
- 空地の減少

自然・景色に恵まれた新しい時代の里づくり

○細かな土地利用の設定
○里の雰囲気を生かしたまちづくり

子どもやおじいちゃん、おばあちゃんが安心して行動できるまちづくり

○公共交通サービスの確保
○安全・安心の確保

自動車増加による交通問題などの発生

- 車の増加
- 国道８号の渋滞
- 車が細い道を通る
- 信号のタイミングが悪い
- 車のマナーが悪い
- 線路を横切る道が狭い
- 地域内の公共交通の便が悪い
- 地下道が危険
- 野洲川を渡る橋が混雑

新旧住民のつながりの弱さ

- ごみの出し方のマナーの説明不足
- 賃貸集合住宅の住民との交流が難しい
- 個人主張の強まり
- 個人情報の問題
- 役員中心
- 新旧交代しにくい
- つながりの希薄化

だれもが気軽に参加して地域を盛り上げるまちづくり

○新旧住民の交流を進めるためのきっかけづくり
○新住民が自治会役員になるしくみづくり

地域の伝統行事活動の担い手不足

- 行事参加のわずらわしさから自治会脱会
- 自治会活動への不参加
- 自治会からまち関連イベントに声かけ
- 伝統行事の継承について早めの対応
- 役員になる人が少ない
- 役員の高齢化

交流の場の不足

- 人口増加に対して自治会館が狭い
- 家が増えて住民の集まる場所がない
- JR で分断されている
- 交流の場が必要
- 災害時の助け合い

少子高齢化の進展

- 高齢者の増加
- 子供の減少
- 独居老人の増加
- 将来的に空き家が増加
- 若年層住民の移入対策

道路や公園、河川などの施設の充実・整備

- 細い道の活用
- 通れる場所が限られる
- 色んな世代が遊べる場・公園
- 通学路の整備
- 道路の整備
- 街灯
- 守山駅東口
- 川
- 排水
- 図書館
- 病院

障壁となる問題

- 学区間の調整が必要
- 行政と個人生活の係わり方
- 法規、法律、市民条例の問題

史跡・施設の有効活用

- 遺跡を基点にして周辺の開発
- フリーマーケットなどのイベント
- 将来的に整合をもった開発計画
- おみやさん（吉身東町）の有効活用
- 旧中山道の活性化
- 史跡、宝物を歴史軸においてみて整理
- 神社仏閣めぐりのウォーキングマップ
- レンタル自転車の活用

中山道・下之郷遺跡を中心にした歴史を感じられるまちづくり

○歴史のまちとしての PR
○旧中山道などの史跡の活用
○史跡をつないだルートの整備
○イベントの開催
○まちあるきのツールづくり
○大学・企業を中心とした活性化

あちこちにいつもみんなが集まる場所のあるまちづくり

○まちの現状を活かした魅力づくり（乱開発、ＪＲや河川などを渡る場所の活用など）
○吉身会館などの既存施設の充実・活用
○河川公園の活用
○イベントの開催

（注）第３回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。